

児童発達支援、放課後等デイサービス **子どもの森アウル**

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.33
R3. 4. 12
(文責 久保)



アウルは4年目に入りました

平成30年（2018年）に開業したアウルも4年目に入りました。ここまで続けられたのも、保護者の皆様や各関係者の皆様のご理解とお力添えがあつてのことです。心より感謝申し上げます。

4年目を迎えるにあたって、あらためてアウルが最も大切にしていること～「学校でもない 家庭でもない 新たな子どもの居場所づくり」～をしっかりと心に据え、「子どもを中心に」おいて活動をすすめていきたいと思ひます。コロナ禍ではありますが、何事にも消極的にならず、いつまでもチャレンジ精神を忘れずに柔軟な心を持ち続けたいと思ひます。

これからも、アウルの活動への皆様の温かなご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

新しいスタッフ紹介 ～ 植田 結菜（アウル フレンズ 児童指導員）

はじめまして、3月に短大を卒業しフレンズで働くことになりました植田結菜です。大学では保育や音楽療育について学んできました。大学での実習の経験や学んだことを、今後活かしていきたいです。そして、音楽が好きなので音楽を通して子ども達の成長をサポートできるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

アウルの卒業式

3月18日（木）にアウルの卒業式が行われました。中学校を卒業する子、小学校を卒業する子、ご家庭等の都合でアウルを卒業する子、合計6名。

思い出がたくさん込められた「卒業証書」と「アルバム」が一人一人に手渡されました。ちょっぴり照れていたり、緊張気味だったりしていましたが、皆さん

とても立派な態度で、スタッフ全員感動しました。



また、卒業以外の子どもたちもきちんとした態度で参加しており、本当に素晴らしい卒業式でした。

みんなで撮った写真はいつまでもアウルの思い出に残るワンカットとなりました。



新しいスタッフ紹介 ～ 今井恵美（アウル フレンズ 指導員）

はじめまして、アウルフレンズに新しく入りました今井です。私は「人と接する仕事がいい」という思いから、学生の際はボランティア活動に参加したり、今までの仕事も医療系の仕事を経験してきました。この度は子どもと関わる仕事に就くことになり、毎日楽しく子どもたちの笑顔に癒されています。一日も早く子ども達と仲良くなって小さな発見と一緒に喜び、成長していきたいと思ひています。どうぞよろしくお願いいたします。

児童発達支援、放課後等デイサービスの森アウル

こどもあうる

札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354



子どもの森
アウル通信
NO.34
R3. 5. 18
(文責 久保)

緊急事態宣言

緊急事態宣言が北海道にも出されました。いろいろな意見があるでしょうが、感染者がかなり増えましたので対策としては妥当なのではないかと個人的には思います。私事ですが東京に住む知人が先月、高熱が出て検査をしたところ「陽性」と診断され東京の病院に入院しました。軽症だったのですが、それでも何日間は高熱、だるさ、味覚障害にかなり苦しんだようです。後遺症が残る場合もあると言われておりますので、症状が治まったとはいえ心配です。今回の緊急事態宣言において求められるのはやはり個人及び全体の危機意識なのでしょう。あらためて感染予防習慣を強く見直したいものです。

アウルの作業室(セカンドハウス)

社会自立支援を行うために、アウルのすぐ裏に作業室(通称セカンドハウス)を借りましたが、先日からそこでの作業を開始しました。



色紙を細かくちぎり、カップに色分けして入れるという内容でした。学校でも作業学習をしているので、とてもスムーズに作業に取りかかることができました。今後、ここで様々な作業を計画的に進めていきます。

4月の活動の様子

4月になって待ちに待った「公園で遊ぶ」のメニューが始まりました。しかし、やはりまだ風が冷たい日が多く、行かれない日もありました。



【ペットボトルフラワー】

制作は「刺し子」「マスキングテープ作品」「弓矢作り」「ペットボトルフラワー」「ぬいぐるみ作り」「5月の壁飾り作り」などをしました。子ども個々で得意分野、苦手分野が違いますが、出来上がった作品はどれも個性豊かでステキな作品ばかりです。



【ぬいぐるみ】



【5月の壁飾り】

こいのぼり



土曜日の調理は「カレーライス」を作りました。甘口と中辛の2種類。自分たちで作ったカレーはやはり、ひと味もふた味違うのですね。みんなはとても美味しそうに食べていました。「また作りたい」という声があがっていました。



子どもたちが大好きな「作って遊ぼう」(毎週木曜日もしくは金曜日に実施)の活動メニュー。アイロンビーズはもちろん人気ですが、最近はグルーガンを使って木の作品作りや、厚紙でのUNO作りを始める子も。バラエティー豊かになってきました。

児童発達支援、放課後等デイサービスの森アウル

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL 011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.35
R3. 7. 12
(文責 久保)

オリンピックとコロナ

間もなく、人類がこれまで経験したことのない、「スポーツの祭典オリンピック及びパラリンピック」と「コロナ感染症」という二つの出来事が同時進行します。「こんな時期に何故オリンピック?」「いやいや、せっかくの祭典だから予防を徹底して」とかいろいろな方の意見があるかと思えます。

今自分がどんな状況下にあるかによって考えが違ってきますし、どのような視点でみるかによっても意見が分かれることでしょう。

私は優柔不断な人間なので、コロナ感染拡大の心配もあり、一方これまで鍛錬を重ねてきたアスリートの希望も大事にしたいという思いがあります。

今回の「オリンピック・パラリンピック」の成功は、華やかさやメダルの数ではなく、感染拡大を阻止するためにいかに全員（国民も、選手も、関係者も）が一致団結して努力したかという点で評価されるのだと思います。

アウルの畑

今年もアウルの畑は作物が順調に育っています。

先日、フレンズの小さなお友達が水やりに来てくれました。



した。何本かきゅうりとピーマンを収穫しました。これから、トマトもジャガイモも・・・楽しみです。



活動の様子



「マスキングテープで作品づくり」

先月、子ども達と力を合わせてマスキングテープを使って共同作品を作りました。大きさは画用紙4枚分。絵柄の一部分を各人が担当して最後に合わせて一つの作品に仕上げました。

テーマは「海」。とっても素敵な作品になりました。みんなで力を合わせることはすごいパワーになるんだとあらためて実感させられました。この作品はアウル室内の一番目立つ場所に掲示しています。

「公園遊び」

最近公園遊びの回数が増えています。外に行くのが大好きな子が多く、公園ではたくさんの汗をかいています。今年は、これまで行ったことのない公園を見つけて行っています。ですので、子ども達のワクワク感や期待感がいっぱいです。



新しいスタッフ紹介

田村直子（たむらなおこ）

【アウルフレンズ 管理者・児童発達支援管理責任者】



この度、アウルフレンズの管理者及び児童発達支援管理責任者として入社しました田村直子です。微力ながら、お子様たちの成長のお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

どんな事にも全力で一緒に楽しんで、一緒に成長していけたらと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

児童発達支援、放課後等デイサービスの森アウル

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.36
R3. 8. 18
(文責 久保)



アウルの夏休み

今年の夏は、例年になく暑い日が多かった気がします。公園に行っても予定よりも早く切り上げてアウルに戻ってきた日がありました。保護者の皆様は夏バテは大丈夫でしたでしょうか？



(大根抜き)

夏休みの**外出体験**は「北広島のエコミュージアム」「公園あそび」「ボウリング」「北広島の畑の大根抜き」などを行いました。めったに見られないファイターズの新拠点の工事現場見学では「すご〜い」「どんな球場になるのか楽しみ」という声が出ていました。



(ボウリング)



(サンピアザ水族館)



(北広島エコミュージアム)



(ファイターズ工事現場)

制作では「壁飾り作り」

「実験」「モビール作り」「作って遊ぼう」などをしました。みんな真剣に活動に取り組みました。



(モビール作り)



(作って遊ぼう)



(実験)

学習も真剣！

夏休み期間中は朝の会が終わると約1時間「学習の時間」を設定しました。学校からの宿題やアウルが準備した学習プリントに取り組みました。



学習時間は大きな声を出したり、ふざけて走り回ったりすることもなく真剣に静かに学習に取り組みました。素晴らしかったです。

M君への高校生活インタビュー

先日、4月から高等支援学校に進学したM君がアウルの活動に参加してくれました。背が伸び、声も大人っぽくなっていました。

高校生活の様子をインタビューしましたのでお知らせします。



Q1 友達はできた？—ちょいちょいできた。

Q2 学校は楽しい？—楽しい！

Q3 どんなふうに楽しい？—友達関係が楽しい。ゲームの話をしたりするから。

Q4 学校でどんな作業をしている？—調理べら作りとか畑作業。

Q5 通学方法は？—朝6時に起きて、7時に家を出て歩いて白石駅に行ってJRに乗る。

Q6 家に帰るのは？—夕方4時代に帰る。

Q7 厳しい先生はいる？—少しいる。

Q8 高校に行って良かった？—よかった！

とてもハキハキと答えてくれました。ありがとうM君。

児童発達支援、放課後等デイサービスの森アウル

こどもあうる

札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354



子どもの森
アウル通信
NO.37
R3. 8. 18
(文責 久保)

アウルの夏祭り



8月11日(水)にアウルの夏祭りが行われました。

午前中はアウル室内で「〇×ゲーム」「ハンカチ落とし」「じゃんけんバスケ」のゲームやビンゴ大会、おやつセレクトを行いました。午後は白石体育館での縁日遊びをしました。体育館では、フレンズの小さなお友達とも合流し、賑やかな楽しい時間を過ごすことができました。



(〇×ゲーム)

(ビンゴ大会)

(おやつセレクト)

縁日遊びでは、各コーナーで遊ぶには1アウルのコインが必要。一人ひとりに配られたアウルコイン(15枚)とくじ引きコイン(2枚)を持ち、思い思いのコーナーに足を運ばせていました。

今年が一番人気は「射的コーナー」だったようです。



白石体育館で縁日遊び

たくさんの遊びのコーナーの中から子ども達は自由に好きなコーナーに行き遊びました。

輪投げ
コーナー



ディスク
ッター
コーナー



ストラック
アウト
コーナー



射的
コーナー







もぐらた
たきコー
ナー





自由遊び
コーナー



くじ引き
コーナー



迷路
コーナー



体育館入口



子どもの森
アウル通信
NO.38
R3. 11. 15
(文責 久保)

WITH コロナ

コロナ感染者の数が急激に減り、他の事件や話題の方が大きく取り上げられ、ややもすると危機感が薄らぎ「コロナが治まった？もう安心！」というココロの油断がどこかに出てきているような気がします。一方、感染者が再度急激に増えている国もあるとか。

まだまだ、これから大きな波が来るでしょう。その波を少しでも低くおさえること。よく耳にします「with コロナ」。コロナ世界の中でどう自分たちは予防を工夫し生きていくか。まだまだ真剣な日々です。

ご結婚おめでとうございます

アウルの美晴先生が10月16日に入籍をいたしました。美晴先生からの一言です・・・

「この度、お付き合いしていた方と結婚いたしました。

名前が田中美晴から小寺美晴に変わりました。名字が変わっても子どもたちと一緒に遊びや活動を楽しんで、成長していきたい気持ちは変わりません。

改めて、どうぞよろしくお願ひいたします。」

アウルのクリスマス会

例年実施されております「アウルのクリスマス会」ですが、今年の日程や主な内容が決まりましたのでお知らせします。

- 日時 令和3年12月4日(土) 9:00—15:00
- 場所 アウル室内、白石体育館
- 内容 午前—アウル室内で手品、ビンゴ、弾き語り等
午後—白石体育館でレクリエーション
- 参加費 500円—昼食代・景品代として

詳しくは別紙プリントにてお知らせいたします。多くの方の参加をお待ちしています。

新しいスタッフ紹介 川村美歩(かわむらみほ) 児童指導員

アウルフレンズのスタッフに加わりました川村美歩です。子どもたちが、のびのびと過ごせるお手伝いをしながら自分自身もせいちょうしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

新しいスタッフ紹介 中村泰征(なかむらたいせい) 指導員

はじめまして、この度アウルフレンズに新しく入りました中村泰征と申します。これまで「パーソナルトレーナー」として未就学からご高齢の方までの運動指導に携わってきました。お子様の持つ可能性を最大限に引き延ばすお手伝いをさせていただき、一緒に成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

児童発達支援、放課後等デイサービスの **子どもの森アウル**

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL 011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.39
R3. 12.10
(文責 久保)

1年間ありがとうございました

今年もあと残すところわずかになってきました。皆様にとって今年はどうな年だったでしょうか。アウルの子ども達を見ますと、随分と新しい仲間が増えた印象が強く、3月に卒業生を送り出してから、アウルの子どもの世代が変わったような感じがしました。しかし、子どもたちのパワーは以前と変わらず、「元気な一年」だったと思います。

来年は「トラ年」です。一般的に十二支のトラは「決断力と才知」の象徴としての意味もあるようです。今後もコロナという逆境の中でも立ち向かう強さを発揮できるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。何やら新年のあいさつになってしまいましたが、「今年一年どうもありがとうございました」。



アウルのクリスマス会

先日の12月4日(土)、アウルのクリスマス会に多くの子どもたちが参加してくれました。本当にありがとうございました。



今年は新しい企画、ゲストを呼んだ企画もあり、とても新鮮味のある楽しい会になりました。



【午前の部—アウル室内での企画】



大学時代は軽音楽部で活躍した美晴Tの「ミニコンサート」がありました。子どもたちの知っている歌を、たくさん披露してくれました。

地域ボランティアの岡田さんによる「マジックショー」では



子どもの目はネタ探しに必死でした。



ビンゴ大会では、「リーチ!」「あと一つでリーチ」「ビンゴ!!」などの声があちらこちらから聞こえ、景品選びに迷う子もいました。



昼食は、から揚げ弁当、のり弁当、ドラえもん弁当を選択して食べました。やはり、みんなで食べるお弁当は美味しいです。

【午後の部—白石体育館でフレンズと合同】



しっぽ取りゲーム、サンタクイズ、おたまりレー、そりりレー、フリスビー、ドッジボールなどを行いました。久しぶりに、小さな子たちとの交流を楽しみました。



最後はアウルに戻ってサンタからのプレゼントを受け取りました。

一人一人の笑顔と元気よさが印象的なクリスマス会でした。

児童発達支援、放課後等デイサービスの**子どもの森アウル**

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.40
R4. 1. 17
(文責 久保)

新年あけましておめでとうございます



2020年（令和4年）寅年になりました。昨年はアウルの活動にご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

今年は、これまでの活動の良い点をさらに生かし、新たな活動の**チャレンジ**を行っていきたくて思っております。アウルの**パワーアップ**に皆様のお力をお貸しいただきますようよろしくお願いいたします。

スタッフの新年の抱負を掲載いたします。

高橋尚子（保育士）



あけましておめでとうございます。2年に渡りコロナの状態を見ながら子どもたちの活動に制限をかける日々が続いています。そんな中でも、たくさんの経験を重ねられるよう、スタッフ全員で知恵を絞って頑張ります。

小野沢優子（児童指導員）



あけましておめでとうございます。2021年はアウルで初めて実験の計画をした年でした。2022年はアウルの子供たちが「なぜ？気になる～、もう一度やりたい！」と思えるような、楽しく新しい活動を計画していきたいです。今年も何卒よろしくお願いいたします。

小寺美晴（児童指導員）



あけましておめでとうございます。今年も子どもたちの「嬉しい！楽しい！」という気持ちをたくさん引出し、伸び伸びと活動できるようなサポートをしていきたいと思っております。それから、子どもの森アウルのブログもたくさん更新できるように頑張ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

福田隆喜（児童指導員）



あけましておめでとうございます。今年は去年できなかった活動や新しい活動をして、みんなが「楽しかった！」と言える一年になればと思います。笑顔あふれるアウルになるように、今年もよろしくお願いいたします。

菊地光夫（運転技術員、指導員）



先日アウルの子供達と一緒に白石神社に参拝してきました。小さな手を合わせながらきっと大きな希望と夢を祈っていたと思います。みんなで「おみくじ」を引きました。私は「吉」でした。欲を張らずに、少しの夢と「トライ」な気持ちでともに一年を過ごしたいと思っています。本年もよろしくお願いいたします。

丸山祐美子（事務職員）



経理の仕事に約30年ブランクがあり、アウルに勤めることになって約3年になります。この春一番下の娘が高校を卒業するので30年以上続いた子育てに一段落つきます。アウルで仕事をしていると、通ってくる子供達からパワーをもらいます。老け込んでいられません。元気で笑顔で過ごしたいです。

アウルを卒業するみなさんへ

小学校や中学校を卒業するみなさん、ご家庭の事情でアウルを卒業するみなさんへ、スタッフからのメッセージを贈ります。

新しい生活が始まるみんなへ

今年の冬は雪が多くて本当に大変な思いをしましたね。でも、もう卒業の季節です。すぐに春の花や木がみんなの目を楽しませてくれます。

私たちはみんなが学校やアウルで頑張ってきたことをずっと覚えていきます。新しい学校でもきっとまた楽しみを見つけることができます。恐れることなく、自分の道を歩いて行ってください。時々近況を知らせてくれたら嬉しいです。
(なおこ)

アウルを卒業するみなさん

ご卒業おめでとうございます。

アウルでの活動はどうでしたか？楽しかったこと、悲しかったこと…いろいろな思い出があるでしょう。それらの思い出をたま～に「あんなことがあったなあ」と思い出してくれたら嬉しいです。まだまだ落ち着かない世の中ですが、皆さんの新しい学校生活が希望あふれる日々になりますように願っています。
(ゆうこ)

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとう

ございます。4月からは新しい場所で新しい生活が始まりますね。いままで一緒に過ごしてきたお友達や先生と離れて「さみしいなあ」と感じることもあると思いますが、新しい場所ではきっとまた新しい友達ができます。新しい出会いを楽しんで大切にしていってほしいなと思います。それでもさみしい時は、アウルみんなに会いに来てくださいね。卒業おめでとう。
(みはる)

卒業おめでとうございます。

この時期になると自然とさみしさを感じる反面、みんながステップアップ、パワーアップしてどんな成長した姿になるのか楽しみでもあります。

アウルでの活動を見ていたら、やっぱりみなさんは笑顔が一番です。どうか笑顔で過ごせる日がたくさんあることを願っています。
(りゅうき)

卒業は“お別れ？それとも 新たな出会い？”きっと両方なのでしょうね。卒業は“さよなら？それとも よろしく？”きっと両方なのでしょうね。卒業は“ゴール？それともスタート？”たぶん両方ですね。一番に思うこと 卒業は出会えたことへの感謝なのでしょう。だから「ありがとう」なのです。

卒業おめでとう そして ありがとう (かず)

卒業おめでとうございます。

新しい生活が始まりますね。楽しみでワクワクする気持ち…不安で心細い気持ち…みなさんはどちらの方が大きいのでしょうか？不安な気持ちは少しずつ慣れて楽しい気持ちに変わっていくと信じています。アウルみんなはいつでも皆さんの応援団です。また笑顔の皆さんに会いたいです。
(ゆみこ)

